

■チリ：6～7月に発生した停電に対する補償額は総額 59.6 億ドル

エネルギー省は 2017 年 10 月 4 日、電力・燃料監督庁（SEC）が 2017 年 6～7 月に発生した停電に対する補償として、経済的な損失を受けた需要家に総額 59 億 6,000 万ドルの支払いを決定したと発表した。対象はこの 6～7 月の 2 カ月間にチリ中南部地域で停電被害を受けた需要家で、同地域で電力供給する配電 18 社がその補償額を支払う。チリでは天候の急変による影響でこの 6～7 月に停電が発生したが、特に 7 月 15～17 日には急激な降雪と積雪によって停電が発生し、首都サンティアゴを含む広い地域で合計 34 万軒の需要家に影響が出たと報じられている。